

## 「山田小学校の下名棒踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

始良市立山田小学校

### 2 学年・人数

4・5・6年 （計30人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

平成30年6月～9月

#### (2) 発表の日時・場所

平成30年9月30日（日） 山田小学校 秋季大運動会

平成31年1月13日（日） 校区コミュニティ協議会 移転式典

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

#### (1) 名称

下名棒踊り（しもみょうぼうおどり）

#### (2) 由来

江戸時代の初め頃、伝わったとされる、農業の田植え祭りで奉納されていたとされる。棒や鎌で地面を叩いたり、お互い打ち合い、音を立てたりして悪い物や虫などを追い出す意味があり、五穀豊穡を祈る踊りである。

#### (3) 構成等

1組6人構成三尺棒を使う踊りと鎌を使う踊りがある。1番と2番で手具を持ち替える。白はちまき、法被、たすき、色鮮やかな飾りを付けて何組かで隊形を組み踊る。

### 5 保存会や地域との連携の具体

4・5年前までは、地域の方が学校に指導にいらっしゃったが、その方が高齢になり、亡くなられてから、学校で職員が過去の映像や歌の録音から指導に当たっていた。そのため、棒や鎌、法被や襷など全て学校に保管してあった。

しかし、平成31年度から地域コミュニティに「棒踊り保存会」を設置し、コミュニティ協議会長が保存会の会長となり、学校がサポートする形にしていく予定である。練習に関しても授業ではなく、放課後を利用し、地域の方が中心に指導していく。発表の場も地域行事の「かかし祭り」での歌、踊りを披露する。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

何年もの間、4年生から練習をしているため、大まかな動きについては、高学年の子どもが下学年の子どもへ指導ができています。子どもたちは、チームとして話し合ったり、助け合ったりする活動を通して郷土愛を育んでる。

## 7 取組の様子



【運動会での発表①】



【運動会での発表②】



【記念式典での披露】



【記念式典で披露した5・6年生】

## 8 参加児童・保護者・教員等の感想・意見

- 参加児童： 毎年運動会でやっているのでも、自分もしっかり踊っていきたい。
- 保護者： 子どもたちが毎年見せてくれるのが楽しみです。子どもたちの成長が見られるよい取組だと思う。
- 教員： 職員もメンバーが代わり指導していくのが難しい。地域主体(コミュニティ)で伝承していくのが今後は、いいと思う。